

Akatake Times

Vol. 63
(通算 第216号)



季節の移り変わりで気温の変化が激しいですね。
コロナ、インフルエンザが増える時期になり、今年はマイコプラズマ肺炎も
流行っているようなので体調管理には気をつけましょう。



『Mt.Fuji in river』

7月30日の早朝に撮ってみました。
狩野川に映る逆さ富士です。
ありふれた光景ですが、こうして見ると沼津もまんざらでもないですね。
普段気づかないことも、ふと目を向けてみると違った景色が見えてくるかもしれません。

撮影：2024年7月30日 赤堀 肇紀



◆あいさつことば

唐突ですが、皆さんが朝の起床後に最初に発する言葉は何ですか？

多くの方は、「おはよう～(ございます)」の挨拶ではないでしょうか。

私も、家族と交わす朝の挨拶で一日が始まります。

入社後は、今日一日皆さんと安全に過ごせるよう、努めて元気に挨拶するように心掛けています。逆に皆さんから元気な挨拶をもらえると、こちらにもポジティブな気分になり、今日もがんばろうと活力が湧いてきます。

挨拶には、朝の挨拶の他に日中に使う「こんにちは」、夜の「こんばんは」があります。使用する時間帯に決まりがあるのでしょうか？

少し調べてみましたが、明確な基準はないようで、一般的に「おはよう」は10時頃まで、「こんにちは」は日の入り前(17時頃)まで、「こんばんは」は日没後(17時以降)に使われているようです。

その語源も所説あるようですが、歌舞伎の世界で使われていたという説があります。歌舞伎の世界では、準備のため朝早くやってくる役者に、裏方や若い見習い衆が気遣って言っていた「お早いお着きでございます」が転じて「おはようございます」になり、「こんにちは」はもともと「今日(こんにち)はご機嫌いかがですか」から、「こんばんは」は「今晚(こんばん)は良いお月夜で・・・」のように、その下にしかるべき言葉を続けていたのが、現在の「こんにちは」「こんばんは」と省略され今の日常の挨拶となったということでした。

一方、別れ際に言う「さようなら」は本来接続語で、「左様ならば(そういうことならば)」からきたもので、江戸時代後期に「ば」が省略され「さようなら」になったようです。つらつら調べたままに書きましたが、改めて挨拶の不思議な力を再認識しているところです。人は出会ってから数秒で、その人の印象が決まるとよく言われています。皆さんは挨拶によって人との距離がぐっと近くなったという経験はないでしょうか？

【挨拶は人間関係の潤滑油】と言われる所以だと思います。初対面でも元気な挨拶の一言で、好印象を与えてくれるなら使わない手はないですね。老若男女問わず通じる上に、相手の心を開く素晴らしい言葉だと思いますので、公私あらゆる場面でどんどん活用したいですね。きっと明日から、皆さんの印象が爆上がりすること間違いなしです。



◆お金豆知識

新紙幣の発行が7月にありました。キャッシュレスが進んでいるお陰で、なかなか渋沢栄一さん、津田梅子さん、北里柴三郎さんにお会いする機会がなく、私の財布には未だに旧紙幣が鎮座しています。

お札の平均寿命は1万円札で4～5年程度、使用頻度が高い5千円・千円札は1～2年というので、5年以内には今流通しているほとんどの紙幣が入れ替わることになるようです。ちなみに、紙幣が破損欠損した場合は、元の紙幣の2/3以上確認できれば、金融機関で交換可能です。



ところで、日本の硬貨・紙幣は物差し代わりになります。

1円玉は直径2cm、5円玉の穴の直径は5mm、紙幣は千円札の横幅が15cm、1万円札の横幅は16cm、千円札を3つに折れば5cm、1万円札を2つに折れば8cm、4つに折れば4cm。千円札と1万円札を並べれば、その横幅の差は1cm。これで、5mm、1cm、2cm、4cm、5cm、8cm、15cm、16cmの長さが測れます。これら全てを覚えておく必要はないかもしれませんが、千円札の15cmだけでも覚えておくと何かの役に立つかも・・・。

このような身の回りの小さな気づきが、生活を便利にしたり、一石二鳥的な発明に繋がるヒントになるかなと思った次第です。

うんちくよもやま話、皆さんのトリビアの1つに加えていただければ幸いです。